



街から図書館へ繋がる

図書館から街へ繋げる

Life Link Library

品川区立図書館広報誌

**知らない からこそ
知る ワクワク がある**

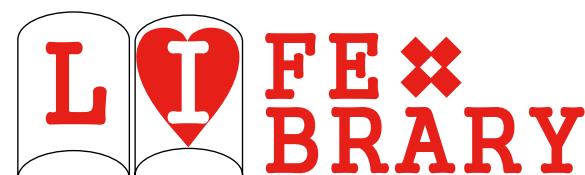
レファレンス
「GOD IN R」～図書館からの声～
区内高校・大学図書館職員×おすすめBooks＝あなたの知らないが知りたいに変わる！

しながわの図書館めぐり「大井図書館から二葉図書館」
FAMILY LIBRARY

絵本の読み聞かせ講座「小学生へおすすめしたい絵本」/ 児童コーナー紹介「五反田図書館」

しながわ！活動レポート「NPO法人 種のアトリエ」
熱血！新着くん！「休みの日の図書館には仕事がある」

図書館に行ったら、
昔読んだあの本に出会えました



品川区立図書館は、区内・区外どちらにお住まいでもご利用できる身近な図書館です。品川区公式チャンネル「しながわネットTV」（配信サイト：YouTube）では、各区立図書館の雰囲気を見ることが出来る動画「LIFE x LIBRARY」を配信しています。きっと、あなたに身近な図書館が見つかります。是非、ご覧ください。

撮影地：【表紙】KAIDO Books & coffee（北品川 2-3-7）、【裏表紙】大崎図書館（大崎 2-4-8）

紹介本：【左から】「PK」伊坂幸太郎著 / 講談社、「希望をはこぶ人」アンディ・アンドルーズ著、弓場隆訳 / ダイヤモンド社
「号泣する準備はできていた」江國香織著 / 新潮社、「モモ」ミヒヤエル・エンデ作、大島かおり訳 / 岩波書店



品川区立図書館広報誌「LiLiLi（リー・リー・リー）～Life Link Library～」

定例号（2017 秋号）No. 4〔年 2 回発行〕

発行：品川区立図書館

（代表：品川図書館 ☎ 3471-4667 Fax 3740-4014 北品川 2-32-3）

■本紙に掲載している表紙絵・写真は、各出版社等の許諾を得て使用しています。■古紙を配合した紙を使用しています。



品川区立図書館
ホームページへ





立正大学



星薬科大学

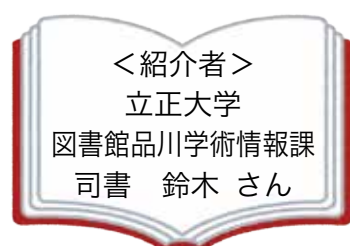


清泉女子大学



大崎高校

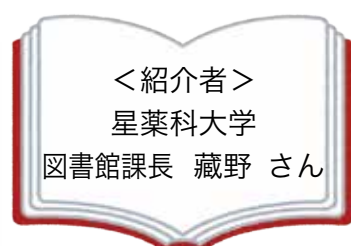
区内高校・大学 × おすすめ Books = あなたの知らないが 知りたいに変わる！



<紹介者>

立正大学
図書館品川学術情報課
司書 鈴木 さん

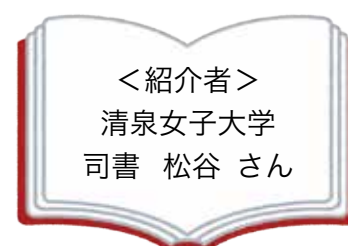
『世界の図書館：
美しい知の遺産』
ジェームズ・W・P・キャンベル著
ウィル・プライス写真
野中邦子，高橋早苗訳
河出書房新社



<紹介者>

星薬科大学
図書館課長 藏野 さん

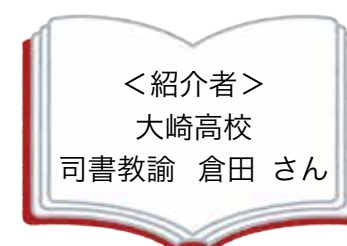
『僕らが毎日やっている最強の読み方：新聞・雑誌・ネット・書籍から「知識と教養」を身につける 70 の極意』
池上彰，佐藤優著
東洋経済新報社



<紹介者>

清泉女子大学
司書 松谷 さん

『あなたは自分を利口だと思いませんか？：オックスフォード大学・ケンブリッジ大学の入試問題』
ジョン・ファーンドン著
小田島恒志，小田島則子訳
河出書房新社



<紹介者>

大崎高校
司書教諭 倉田 さん

『茶色の朝』
フランク・パヴロフ著
大月書店



皆さんは鎖に繋がれた本を見たことがありますか？
口ココ様式の装飾や天井一面のフレスコ画に囲まれた図書館、宙に浮く書架（＝棚）をご存知でしょうか？ページをめくるたびに広がる神秘的な世界は、図書館職員でなくともワクワクゾクゾクするような見事な写真の数々です。私はそのワクワクを味わいたく、旅先で図書館に足を踏み入れることがあります。この本から、国や時代を飛び越えた図書館の旅に出してみませんか。世界史、美術、建築等に興味のある方にも楽しんでいただける1冊です。

自分の力で世の中を読み解くために、新聞、雑誌（週刊誌、月刊誌、ビジネス誌、専門誌）、書籍、インターネット、それぞれの何を選んで、どのように読むかの「技法」について、著者お二人の手の内を惜しみなく示してくれた一冊です。いずれの媒体も、それを読みこなすのに最も重要なのは全ての土台となる「基礎知識」で、知は「武器」であり、「楽しみ」でもあると語っています。自分に合った方法を見つけるための一助として、社会人にも、学生にもおすすめです。

自分を利口だと思うか、何とも挑発的な問いかけです。この本は、英国の名門大学の面接試験から選りすぐった難問奇問に解答を付けた本です。書名は法学の問いですが、本書には「火星に人間をどう説明しますか？」（医学）、「蟻を落とすとどうなりますか？」（物理学）などあらゆる分野の問題が集められています。著者の解答もあくまで一例なので、読者に考える余地を残してくれています。この本を読んで、これらのユニークな質問へのあなたなりの答えを考えてみませんか？

「ペット特別措置法：『茶色』以外の飼い猫、飼い犬を処分しなければならない」そんな法律ができたなら、あなたは従いますか？政府の決めたことには、とりあえず従っておけばいい、自分には仕事があるし、毎日やるのがたくさんある…。そう思う「ふつうの人びと」に警鐘を鳴らす物語です。恐ろしい描写は少しもないのに、最後の1ページはゾッとします。フランスで十数年前ベストセラーとなった短い寓話です。あなたにも私にも「茶色の朝」が訪れませんか？

【区立図書館の魅力や上手な使い方など】

図書館が所蔵する貴重な資料の数々を閲覧できるのは魅力のひとつです。図書館が開催する展示等にもぜひ足を運んでみるのはいかがでしょうか。

【区立図書館の魅力や上手な使い方など】

身近な図書館で求める情報は見つかりましたか。無くても、他の図書館から取り寄せてもらえないか、一度尋ねてみてはいかがでしょうか。

【区立図書館の魅力や上手な使い方など】

図書館の本は、主題別に並んでいます。探している本の周りを見渡せば、思ってもみない本との出会いが待っているかもしれません。

【区立図書館の魅力や上手な使い方など】

原則、無償で利用できます。なぜなら図書館は、誰にでも平等に、知る権利、学ぶ権利を保障する機関だからです。

※ 一般の方は高校・大学図書館を利用することはできません。

大井図書館

▼滝王子児童センターに併設している事もあり、児童書が充実した活気のある図書館です。一方、一般閲覧席は児童コーナーから離れた箇所にあるので、大人もゆっくり利用できます。
蔵書：図書資料 約6.8万冊、CD約4.6千点、DVD約1.3千点
住所：大井5-19-14



滝王子稲荷神社

■お稲荷様、権現様、水神様の三神をお祀りしています。2017年1月にTV放映された湧水池、その横のタブの木は、区指定文化財として認定されている樹齢250～300歳の長老様。今なお幹周約3m、樹高約10～15mの堂々たる姿を保ち、湧水池に生きる魚や亀達を見守っています。境内の銀杏も見事です。



東光寺

■天文13年12月(1545年)創建。御本尊は阿彌陀如来。山門横には戦争の犠牲になった動物達の供養塔があります。荏原七福神巡りの毘沙門天もコチラ。お便所の守護神をお祀りする祠もあり、参拝すると下の病にかからないとか。なお二葉2-1-12のお地藏様は、コチラのお寺の鬼門除け。
URL <http://toukouji.nettemple.jp/>



光学通り

■大井1丁目から西大井まで約1.3kmにわたる光学通り。かつて光学機器メーカーの日本光学工業株式会社(現、株式会社ニコン)の本社があり、その会社の社員が通勤に使うからと自然発生的にこの名称が定着したそうです。今もこの通り沿いに株式会社ニコンの大井製作所が建っています。



アクセス：東急バス 大井第一小学校バス停より徒歩2分



大井を歩く
『時代屋の女房』
村松友視／著
株式会社KADOKAWA
問合せ番号：1100102780 (文庫：1100107828)

風情あふれる文章で綴られた道具屋夫婦のとある出来事。主人公とその周辺の登場人物の描写や会話から、ほのかな哀愁を織り込んだ暖かい暮らしの空気が漂ってきます。舞台である三つ又の情景を思い浮かべれば味わいもより一層。夏目雅子さん主演で映画化もされています。
関連スポット：三つ又地藏



大井町を歩く
『東京二十三区女』
長江俊和／著
幻冬舎
問合せ番号：1120263554

東京都各区に関する都市ウチク満載の連作短編集。ミステリー、ホラー、雑学系読物と、三種類の楽しみ方ができるお得本です。品川区は全編に共通する謎が解ける最終話の舞台。各話で変わる主人公も、最終話では大井警察署に配属され、近辺の交番勤務に就いているお巡りさんです。
関連スポット：大井警察署・大井町駅

しながわの図書館めぐり 第3回 大井図書館 → 二葉図書館

品川区にある図書館～図書館の散策路紹介企画「図書館めぐり」も第3回になりました。今回は前回到着した大井図書館から二葉図書館までのルートを紹介。住宅街が多いので庭先の花々で目を癒しながら歩けます。少し足をのびした大井町駅には予約本の受取が出来るサービスコーナーもありますので、用途に合わせてそちらもご利用ください。



NPO法人雅楽道友会 雅楽器工房

■雅楽は十世紀には完成し、以来日本の代表的音楽として受継がれ、最近注目されている分野です。コチラはその管楽器専門の日本でも数少ない製作工房さん。プロ奏者である代表の方々は近所の下神明天祖神社をはじめ品川区の神社で雅楽の指導をされています。(工房の見学は予約制です)
URL <http://www.gagaku.com/koubou/>



下神明天祖神社

■旧下蛇窪村(現二葉)の鎮守様。主祭神は天照大神。参拝はぜひ一の鳥居から。区内最長の参道を抜けると区内最大の狛犬と御神木の樫が出迎えてくれます。21本の保存樹も見所の一つ。空気入れや自転車かけもあるので自転車散策にも便利です。また、毎月1日朝7時より参列自由の月次祭も行われています。
URL <http://shimo-shinmei.jp/>



二葉図書館

▲下神明駅から徒歩1分という利便性を誇る、こじんまりと落ち着いた雰囲気図書館。薄緑色の壁やアーチ型の通路口が可愛らしく爽やかな印象です。利用者に楽しんで頂けるよう端々に工夫がされています。
蔵書：図書資料 約5.4万冊、CD約2.8千点
住所：二葉1-4-25



神明児童遊園

■通称「タコ公園」の名前で区民に親しまれている、タコの遊具が目印の児童遊園。何とも愛嬌あふれる姿に、子ども達からも文字通りひっぱりタコ！昨年リニューアルした品川百景の一つにも選ばれています。

住所：二葉1-4-25



児童コーナー紹介 第3回 「子育て支援」「天文」に強い！ 五反田図書館

同施設内に「音楽ホール」「プラネタリウム」「小学校」「保育園・幼稚園」が併設されている五反田図書館。中でも「子育て」「天文」に力を入れています。第3回のコーナーではそんな五反田図書館児童コーナーを紹介します。

【場所】 五反田文化センター 2 階
(音楽ホール/プラネタリウム/小学校/
保育園/幼稚園との複合施設)

【最寄】 不動前駅より徒歩 7 分/バス大崎郵便局前すぐ

【住所/連絡先】 西五反田 6-5-1
Tel 3492-2131/Fax 3492-4995

1. 入口近くで特集コーナー



入口近くの人目につきやすい場所で毎月テーマを決めて特集を組んでいます。この棚で紹介した本が月に400冊程度貸出されます。毎月23日に展示が入れ替わるので、詳しくはお近くのスタッフにおたずねください。

3. 色紙で作ったキューブ



五反田図書館は壁が少ないため、本棚の上や天井を利用して、離れたところから見やすいように飾りつけをしています。「物語の本は青と緑のキューブの棚です」というように分かりやすい案内をしています。

5. 子育て支援コーナー



幼保一体型施設の強みを生かし、五反田図書館が最も力を入れているコーナーです。2017年7～9月には五反田・大崎・二葉の3館交代で「子育てリレー展示」を行っています。絵本コーナーにはトイレトレーニングや寝かしつけの絵本もあります。

2. 机の上の展示



机の上では色紙を使って展示を行っています。恐竜や車の本は子どもたちにとっても人気があります。

4. おはなしの部屋



広々としたこの部屋では、職員やボランティアさんが絵本の読み聞かせを行っています。

【五反田図書館おはなし会】
※①幼児～小学生向け
毎週水曜日 午後3時～
②0.1.2歳児向け
偶数の月に1回(土・日のどちらかに実施)
午前11時～

6. プラネタリウム、天文本



五反田図書館はプラネタリウムと隣接しているため、天文の本に力を入れています。他の館が所蔵していない天文本も多く所蔵しています。



自分でじっくりと読んで楽しむ絵本

作 品	作 者
ふしぎなたね	安野 光雅
ぞうのさんすう	ヘルメ・ハイネ
いちご	新宮 晋
オオカミクン	グレゴワール・ソロタレフ
からからからが・・	高田 桂子

繰り返しが増えてく絵本

作 品	作 者
おかえし	村山 桂子
これはのみのびこ	谷川 俊太郎

読んでもらってこそ面白い絵本

作 品	作 者
せんたくかあちゃん	さとう わきこ
おれはねこだぜ	佐野 洋子
ルラルさんのおちそう	いとう ひろし
かぜがふいたら	ルース・パーク
うごいちゃだめ	エリカ・シルヴァマン

『第3回 小学生へ おすすめしたい絵本』
乳幼児の頃、一冊の絵本を何度も繰り返し読んでほしい姿が見られましたが、小学生になる頃にはだんだん減ってきます。『読んで！』と一言に、自分で繰り返し読んでいく姿も見られるようになります。それは、お話しの内容を理解する力が高まり、一度読んでもらったら、次には自分で読んでみようと思う心が育ってきた証(あかし)でしょう。それでも、字が読めるようになったのだから、自分で読みなさいというのではなく、時間とゆとりがある限り、求められたら読んであげてほしいものです。絵本は、読み手と聞き手がともに楽しむことで、さらに楽しさが深まってゆくのだと思います。

『くろねこあささん』(東君平作)や『つきよのおんがくかい』(山下洋輔作)『カニツンツン』(金関寿夫作)などのように、リズムを楽しむ絵本は、読み手と自分のリズムが合わない場合があり、自分自身で読むことで心地よさが増すことを発見すると、今度は他の人に読んであげたいくなるようです。そんな時はぜひ、聞き手になってあげてください。

この他にもまだまだたくさん本がありますので、ぜひ図書館で探してみてください。

(元 NPO 法人理事長) 山本 典子

おはなし会に潜入取材！ in 大崎図書館

品川区立図書館では、児童サービスに従事する目的で募集・登録したボランティアさんが読み聞かせを行っています。今回は大崎図書館で読み聞かせを行っているボランティアさん2名を紹介します。

【最寄】大崎駅より徒歩 5 分 / バス大崎駅西口より徒歩 5 分
【住所/連絡先】大崎2-4-8 Tel 3495-0660/Fax 3493-9979
【おはなし会】
・幼児～小学生向け 毎週水曜日 午後 2 時 30 分～
・0.1.2 歳児向け 奇数月最終土曜日 午前 11 時～

鈴木 佳洋子さん (左)
(ボランティア歴11年)

小山 聡子さん (右)
(ボランティア歴7年)



絵本が大好きで、自身の子育て時代に子どもを連れて品川図書館のおはなし会に参加したのが最初です。
嬉しかったのは、お母さんと一緒に4カ月の子が一人だけ参加という回で、不安でしたが、「きゃっきゃっ」とお母さんの膝の上で笑いながら聞いてくれたことです。
言葉を丁寧に伝えること、ぐりとぐらなどの「古典」を大事にしています。

小さい子向けのボランティアをしたいと思っていたのがきっかけです。自分の予想と違う子どもの反応が来ると嬉しいです。
最近は友達と集まって図書館に来る子どもたちや、水曜日に来てくれる親御さんが少なくなりました。世の中が変わるとこちら側も変わらないといけないと考えています。

図書館サービスの案内

★おはなし会
毎週、区立図書館全館で開催中です！
※各図書館の詳しい開催日時については、別途おはなし会のチラシをご覧ください。ただ、区立図書館ホームページをご覧ください。

★ブックリスト
図書館オススメ本を紹介したブックリストを区立図書館で配布しています！
区立図書館ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

★はじめてのえほん
4カ月健診を受けられたお子さまに、乳幼児向けの絵本やブックリストをお渡ししています！
※絵本は引換券との交換となります。

★その他
図書館の利用カードは、0歳からつくることができます。
また、小学校・義務教育学校1年生までのお子さまが利用カードを作ると、黄色い図書館バッグをプレゼント！





新着くん

図書館に所蔵されたばかりの図書館一年生。

★図書館新入物語★

熱血!

新着くん!



先輩さん

図書館に所蔵されて3年、貸出回数50回を超えるベテラン。

第3話 休みの日の図書館には仕事がある



「なんだか今日は静かですね」
 「忘れたんか、今日は**館内整理日**や」「館内整理日?」「せや。図書館はお休みや」「やったーお休み好きです! どっか出かけましょ! 水族館とか!」「あほか、館内整理日はたしかに休館日やけど、図書館の中では大仕事が繰り広げられるんや」「ええ、何をするんですか?」「**書架整頓**や」「本棚を整理整頓するってことですか?」「お、新着くんも物が分かってきたな。その通りや」「大掃除とは違うみたいです」「せや。掃除もするけど、本棚に本が順番通りに並んどるか見るんや」「えっ、これ全部の本を見るんですか!?」「当たり前やろ。一部だけちゃんとしとって意味ないやん」「大変ですねえ」「お前もはよ正しい書架に戻りや」「えっボクここが正しい位置じゃないんですか?」「入れ間違いは誰にでもあるっちゅーこっちゃ。**アディオス!**」

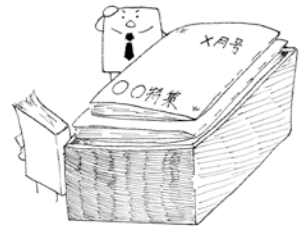


とぼとぼと所定の書架へ帰る新着くん。道を間違えてたどり着いた先には。



「なんだろう。この雑誌の山は」「**保存期限**の切れた雑誌や」「先輩さん! どうしてここに」「よう考えたら俺も入る書架間違っと思ったから帰るところや」「うっかりさんですね」「**やかましい**」「で、保存期限の切れた雑誌って何ですか?」「読んで字のごとくやろ! 図書館の雑誌はそれぞれに保存期限っちゅうんが設定されとってな、一

定の年月保存した後にリサイクルで配るんや」「配ってるんですか!?」「せや。気前ええやろ」「エコですね」「ほんでその引き抜き作業も館内整理日にやっとなねん」「館内整理日にやってるのは書架整頓だけではないんですね」「他にも色々やっとなけど、それはまたの機会に! **チャオ!**」



自分の書架に飛び上がって入っていく先輩さんを見て、道を聞けばよかったと後悔する新着くんであった。



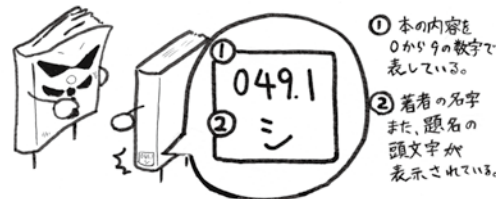
新着くん、所定の場所には帰れたか?



いえ、職員さんにもどしてもらいました。ところでボクたちの所定の場所って何で決まってるんですか?



お、ええ質問やな。請求記号っていう記号で場所が決まるんや。新着くん、ちょっと背中見てみ。



ボクの背中に数字とカタカナが書いてあります!



原則、その数字の順番で並んどんねん。同じ数字の中では五十音順になっとる。



ところで、ボクの背中ってここなんですね!



な、驚きやな。

地域×図書館

しながわ! 活動レポート

Vol.3

NPO法人 種のアトリエ
(インストールの途中だビル内)

このコーナーでは、図書館、本、読書などとの繋がりがあある品川区内の地域活動にスポットをあてて紹介していきます。第3回は、8月に荏原図書館でステンシルを使ってブックカバーとしおりのワークショップを行った「種のアトリエ」から代表の佐次えりなさんと、ともい江梨さんにお話を伺いました。



種のアトリエ (戸越6-23-21 URL <https://atorie-tane.jimdo.com/>)



右: 佐次えりなさん (代表)
 2013年から創作ワークショップ「種のアトリエ」をスタートし、2014年にNPO法人設立。

左: ともい江梨さん (パフォーマー・制作・宣伝)

Q: 「種のアトリエ」の普段の活動の内容を教えてください。

A 代表・佐次さん…美術と言葉と体を使ったワークショップを通じて、創作の楽しさを伝える活動をしています。

例えばパペット劇の上演や、パペットの制作のワークショップを国内だけでなく、海外でも開催しています。また、荏原図書館とも連携事業を行っています。一昨年は蜜蝋作りのワークショップを行い、蜜蝋についての講義と実際に蜜蝋を使ったバラやカエルなどのキャンドルの作成を行いました。

また今年もステンシルを使った、ブックカバーとしおりのワークショップを行いました。

Q: 法人名の「種のアトリエ」の由来と、活動拠点の「インストールの途中だビル」について、またなぜその場所を選んだのか理由を教えてください。

A (代表・佐次さん)…名前の由来は、創作の種をまきたいという願いから付けました。「創作や「アート」だと特別な人だけがやる特別なことであるというイメージを持つている人も多いと思いますが、誰のものでもなく生活に浸透したものでもあると思うので、実際に体験することで一歩前に進むというきっかけを提供できたらと考えています。

『インストールの途中だビル』はビル型シェアアトリエで、6階建てのビルの中に現代美術家やファッションデザイナーなど複数の他業種団体が入居しています。都内でこれほど自由に創作活動ができる場所はなく、内装なども含めみんなで自由に作っていく・変えていくインストールの途中という意味に共感したので利用しています。



—昨年の蜜蝋ワークショップで作った作品。

ステンシルワークショップ風景



①まず先生の講義とお手本を見ます。



②実際に書く下絵をアクリルの型に書きます。



③下絵を切り抜いたら布の上に型を置き中を好きな絵の具で色付け。



④色付けしたらしおりに紐を付けカバーの形に縫って完成!

Q: 図書館との連携事業を行ったことで何か変化したことや良かったことはありますか? また今後図書館とやってみたいことや地域との関わりを通じて伝えたいことなどはありますか?

A (代表・佐次さん)…やはり図書館は公共施設なので、普段アトリエで行うときよりも幅広い年齢層の方に参加してもらえたことが新鮮でした。また、何かを一緒に作ることで年齢や性別の垣根がとれるという体験ができました。

今後も図書館やアトリエでのワークショップを通じて、地域の方にも実際に創作に参加する楽しさを伝えていきたいです。

「終わりに」

活動のきっかけについてお尋ねした際に「上手い・下手」にしばられず、多くの人に創作を楽しくしてほしいという言葉が印象的でした。

「種のアトリエ」は普段「インストールの途中だビル」内で月に4〜5回ほどワークショップを行っています。これをきっかけに活動の楽しさに触れてみませんか。

また、品川区立図書館では他にも様々なイベントを開催しています。皆様のご来館を心よりお待ちしております。